

倉田コミュニティハウス通信

2010年2月号 NO. 39

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800



スペシャルキッズオープンデー 杉山兄弟シャボン玉ショー



日時：2010年3月22日（月・祝）

午前10時～11時 シャボン玉ショー

11時～11時30分 一緒にシャボン玉で遊ぼう

チケット前売り開始：2月10日（水）10時より販売いたします。

ひとり300円 先着100枚に限ります。大人・子供同一料金です。

0歳児は無料です。天候により内容変更の場合もあります。

当日来館されない場合も返金はいたしかねます。ご了承下さい。



杉山弘之・輝行（敬称略）

神奈川県出身、戸塚区在住。

幼い頃からシャボン玉の魅力に取り付かれ以来研究を重ね世界記録を達成。シャボン玉ならではの表現を使いテレビコマーシャル、ドラマ、舞台演出等を手掛ける。素朴な遊びをアートにまでした日本で唯一のシャボン玉研究家であり、世界で初めてシャボン玉ショーを始めたシャボン玉アーティスト。始めた時から今日まで39年間、虹色に透き通ったシャボン玉の向こうに見える子供達の笑顔が兄弟を支えている。海外でも広く活動、ポピュラーサイエンス（科学を面白くする100人）に選ばれ、「CNN」や「パシフィックフレンド」等を通じ、世界各国の報道メディアで紹介されている。





2月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。



日	2月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。		
1(月)	抽選会	午前10時から2010年3月分の抽選会です。	
2(火)	読み聞かせプラス フリースペース	1歳～未就園児向けの 子育て支援です。	午前11時から絵本の読み聞かせや 紙芝居、体操などがあります。その後 午後1時までフリースペースになります。
6・13 20・27 (土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0才～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費100円です。
6・20 (土)	倉田いけばなこども教室		ご希望の方は お問い合わせ下さい。
16(火)	0歳児クラブ	0歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
16(火)	まちの保健室フリースペース	0歳から高齢者 どなたもどうぞ	からだスキャンをご用意しました。 生活習慣病などの相談ができます。 午後2時から4時まで
17(水) 26(金)	ハートぽっぽクラブ	1才～2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	親子で歌ったり、遊んだり、楽しいこと いっぱいです。活動費100円です。 午前10時から午後1時まで
19(金)	サロン上倉田	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前10時から午後2時
20(土)	男の手料理パン講座	成人男性	定員にない次第 申し込みは終了いたします。 ご希望の方はお問い合わせください。
22(月)	休館日	全館点検のためお休みいたします。	
24(水)	上倉田社協食事会	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前11時半～午後2時

今年もよろしくお願ひいたします。



大変遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

18年10月に開館いたしまして、22年4月からは5カ年目となります。当初の予想をはるかに超え、たくさんの方にご利用いただく賑やかなコミュニティハウスが出来ました。これも地域の皆様の励ましや、暖かいご声援に支えられた結果だと感じております。

これからも足りないところ、気づかないところなどご指摘いただき、心をこめて、運営にあたりたいとスタッフ一同考えております。

この場を借りまして、新年のお飾りをご披露させていただきます。どれも、地域の方が手作りのお飾りをコミュニティハウスに持ってきてくださいました。お蔭様で新たな気持ちで新年を迎えることが出来ました。本当にありがとうございました。



スタッフのひとり言

街道を歩く vol 8

富士駅に降り立ち、街道に出てしばらく行くと源平の合戦で有名な富士川に着く。川幅はさすがに広い。橋を渡り終えると絵葉書のような景色に出会う。ゆったりと流れる富士川の左岸はなだらかな丘陵、右手先には富士の裾野が広がる。富士の中腹は白雲に隠れているが、真っ白な山頂は青空の中に凜と輝いていた。

富士川を越えると街道は丘陵地帯を南下し蒲原宿に出る。蒲原は今回の旅で始めて出会った宿場を偲ばせる街並み。下がなまこ壁の白壁あるいは黒壁の商家や、黒板塀の堂々とした家などが街道の右、左に散見される。残念ながら、これらの建物は明治・大正期のものなので、江戸時代までとはいかないが、それでも十分レトロな気分になることができた。

蒲原宿の次の由比宿では由比正雪の生家紺屋(染物屋)を覗き、その前にある復元された本陣に立ち寄る。本陣とはこんなに立派な構えなのかと感心する。昼食は由比名物の桜エビの天井。ボリュームがあったが、あっという間に胃の中に収まってしまった。

由比から薩埵峠(さった)への街道は、車がやっとすれ違えるほどの狭い坂道。古い家並みを過ぎると、左手眼下遥かに駿河湾沿いに並行して走る国道、高速、JRが見える。道は急斜面を利用したミカン畑の間を縫うように上っていく。頂上に着き振り返ると、伊豆半島の付け根に小さく富士が見えた。

《N.I》